



防災行政無線などを用いた情報伝達訓練の実施

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）を用いた防災行政無線による情報伝達訓練が行われます。

Ｊアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

訓練実施日時

2月9日（金） 午前11時00分頃

防災行政無線放送内容

町内に設置してある防災行政無線から一斉に、次のように放送されます。

【放送内容】

- 上りチャイム音
- + 「これは、Ｊアラートのテストです。」 × 3
- + 「こちらは、ぼうさい日高です。」
- + 下りチャイム音

問 役場総務課 情報防災グループ
☎ 01456-2-5131

飼い主の皆さんマナーを守れていますか？



近年、犬の飼育者が増える一方でマナーの低下も叫ばれています。

- ・公園等に糞が放置されている、おしっこをさせたままにしている
 - ・公園等でリードを付けずに散歩させている
- などのご連絡を頂くことが町でも増えてきています。

犬を飼っていない方は、その犬のことを分かりません。噛まれるかもしれないと思っていたり、犬が苦手な方だったりするかもしれません。

もしかすると、リードを付けず放していた犬に追いかけられたことが原因で嫌いになってしまう可能性もあります。

犬を飼っていない人も飼っている人も安心して気持ちよく過ごせるよう、マナーやルールは必ず守りましょう。

問 役場住民生活課
環境生活・アイヌ政策グループ
☎ 01456-2-6182

水道管凍結多発！水道管凍結にご注意ください

気温がマイナスになると、日中でも水道管が凍結する可能性があります。

外出時や長期不在の場合は水抜栓を操作し、水落としをしてください。水抜栓操作をして蛇口を開くことにより水落としをすることができます。

万が一凍結してしまった場合は、日高町給水装置工事指定事業者に連絡し修理依頼をしてください。すぐに対応できない場合もありますので各ご家庭で注意してください。

地区	業者名	地区	電話番号
富川	工藤設備工業(株) ☎01456-2-1775	厚賀	(株)中村産業 ☎01456-5-6655
	(株)豊島組 ☎01456-2-1387		(株)ナヴィズ福岡 ☎01456-5-2333
	(有)門別清掃社 ☎01456-2-0382	日高	(株)日栄工業日高支店 ☎01457-6-7010
	佐々木設備 ☎01456-3-1340		(株)尾関工業 ☎01457-6-3540
本町	(有)大熊 ☎01456-2-5252		(株)松浦電機 ☎01457-6-3230

なお、町外業者については日高町のホームページにて掲載しています。



HP <https://www.town.hidaka.hokkaido.jp/site/suidoichiran/suido-kyusui.html>

問 水・くらしサービスセンター 上下水道グループ ☎ 01456-2-1334
総合支所地域経済課 地域経済グループ ☎ 01457-6-2024



健康増進だより

～はつらつ笑顔 元気な暮らし 日高町～

◎日高町役場 子育て健康課

☎ 01456-2-6571

◎日高総合支所 地域住民課

☎ 01457-6-3173

冬季の災害への備えについて

胆振東部地震から、気づけば5年経過しました。

皆さんは来るべき災害に対し、備えはしていますか。今一度、防災グッズやご自宅の備えを確認してみましょう。

胆振東部地震では、日高町は震度6弱を観測しました。

発生時期が9月初旬だったため、暑さ、寒さによる健康被害は聞かれませんでした。電気や水の供給が止まったことで、不便な思いをされた方も多くいました。

例えば、今のような冬の寒い時期に、同程度の地震が発生したらどうでしょうか？

今回は、冬季の災害への備えについて考えたいと思います。

防災対策の基本！災害用バッグ

・懐中電灯(LEDのヘッドライトが便利)・携帯ラジオ・モバイルバッテリー・ホイッスル・常備薬・現金・水・カイロ・タオル・防災食・衛生用品など

★定期的に点検し、防災食の消費期限切れや、電化製品の電池切れがないか確認しましょう。

★スマートフォンは、緊急時の情報を得る必須アイテムですが、いわゆる格安スマホは、緊急地震速報やアラートが鳴らない仕様の物がありますので、その場合はアプリを入れておきましょう。

停電になると、暖房機器が使用できなくなります。

また、避難所では大勢の人が過ごすことから自分の思うように冷暖房がコントロールできない可能性があります。冬の時期は、寒さ対策として、災害バックに入れておく衣服や、普段の服装に工夫が必要です。

防寒対策！「水と空気と風をコントロール」

災害時衣服の基本は、下着・中間着・上着です。

①下着・・・『水をコントロール』

コットン(綿)素材のインナーは避けると良いでしょう。コットンを着て汗をかくと、コットンが保水してしまうので、上に何を着ても暖かくなりません。機能性インナー(ポリエステルでも汗を吸い取り、毛細管現象によって拡散させ、汗を排出できる素材)を肌に直接身につける方が寒さを防げます。自然素材がよ



いという方は、シルクとウールのインナーが良いでしょう。

②中間着・・・『空気をコントロール』

冬になると、重ね着をすることが多くなります。薄い服でも重なった服の間に空気の層ができ、断熱効果で暖かくなります。



フリース素材やウール素材は発熱機能があり、空気をためることができるため、中間着として優れています。

③上着・・・『水と風をコントロール』

体が濡れ、冷えてしまうと、私たちの命に大きく関わります。

レインウェアなどで使用される透湿防水素材の性能は、透湿性と耐水圧で表示されます。透湿性が高ければ蒸れません。また、耐水圧が高ければ濡れません。一般的な傘の耐水圧250ミリに比べて、透湿防水素材の耐水圧は1万ミリを超えています。耐水圧が2万ミリを超えたウェアを着たまま、水たまりに座っても濡れません。



防災時の衣服選びは、命や健康を守るために重要です。冬の期間は防寒に向いている下着・中間着・上着を準備しておきましょう。

感染症対策！「こまめな手洗いや消毒が基本」

冬はインフルエンザやノロウイルスなど様々な感染症が流行します。断水により手を洗う回数が減る、避難所で感染者との接触が増えるなど、災害時は感染症のリスクが高まります。以下の点に注意しましょう。

- ・マスクの着用
- ・手洗い(できなければ手指消毒)
- ・トイレは蓋を閉めて流す、
- ・袋入りの食べ物は、手でちぎって食わず、直接食べる
- ・換気 など

そのため、手指消毒剤や除菌シート、ラップ、マスクなどを災害用バックに入れておくと良いでしょう。

災害が発生した際には、慣れない避難生活や家屋の片づけ作業、気温の変化などにより、体力や免疫機能が低下することで、感染症を発症しやすくなります。災害時の負担を減らせるような備えをしておきましょう。